

環境報告書

令和4年度版



目次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2	脱炭素社会の構築・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	（1）再生可能エネルギーや未利用エネルギーの活用	
	（2）省エネルギー対策・省CO ₂ 対策の推進	
	（3）交通・物流対策の推進	
3	循環型社会の形成・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	（1）給水スポットの設置について	
	（2）減量化・適正処理の推進	
	（3）グリーン購入の推進	
	（4）ペーパーレスの取組	
4	快適な都市環境の確保・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	（1）自然との共生・生物多様性保存の推進	
	（2）ヒートアイランド対策の推進	
	（3）都市環境の保全・改善の取組み（水環境）	
	（4）都市環境の保全・改善の取組み（地盤環境）	
	（5）都市環境の保全・改善の取組み（化学物質対策）	
	（6）都市環境の保全・改善の取組み（工場等の騒音・振動対策）	
5	すべての主体の参加と協働・・・・・・・・・・・・・・・・	12
	（1）水環境への関心を高める取組	
	（2）職場改善運動（かいぜん Water）の取組の推進	
6	環境に関する新たな事業活動・・・・・・・・・・・・・・・・	14
	（1）スマートメーター導入拡大について	
7	環境効率を表す指標・・・・・・・・・・・・・・・・	15
	（1）環境効率を表す指標	
	（2）環境会計	
	【参考資料】事業概要と管理体制・・・・・・・・・・・・・・・・	17
	（1）水道事業及び工業用水道事業の概要	
	（2）大阪市における浄水処理	
	（3）浄水場における物質フロー	
	（4）大阪市市内環境管理計画の取組	
	（5）大阪市市内環境管理計画の推進体制	



大阪市水道局経営戦略（2018-2027）【改訂版】

HP:<https://www.city.osaka.lg.jp/suido/page/0000563630.html>

大阪市水道局の経営の基本計画である「大阪市水道経営戦略（2018-2027）【改訂版】」（以下「経営戦略」といいます。）の基本方針には、環境に配慮した様々な具体的取組が含まれています。積極的に環境対策に取り組んでいることを明らかにするため、経営戦略で記載している項目については、右の（例）のようにアイコンを表示しています。

（例）

経営戦略

4-3-2

再生可能エネルギーの導入拡大の検討

1 はじめに

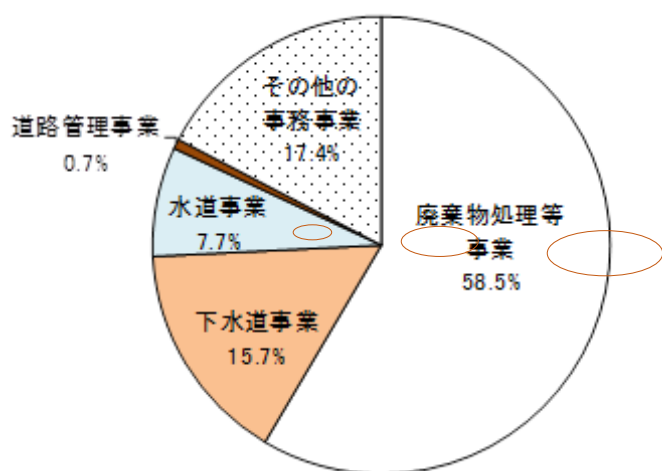
大阪市水道局環境報告書（令和4年度版（令和3年度決算版））の発行にあたって

お客さまにお届けしている水道水は、地球環境と密接に関係しているため、水道局では環境に配慮した事業運営を行っていく責任があります。

そのため、これまでにポンプ設備をはじめとする水道施設に関する種々の省エネルギー対策の実施、太陽光発電や小水力発電の導入といった再生可能エネルギーの利用向上、脱プラスチックの取組の一環としてマイボトルに水道水が補充できる給水スポット「水色スイッチ」の設置など、さまざまな分野での環境施策を進めてまいりました。

今後も引き続き、水づくりの各工程におけるエネルギー使用量の削減に取り組むとともに、工事現場や、事務室における業務運営など、事業運営のあらゆる面で温室効果ガスの排出量削減やプラスチックごみの削減につながる取組を着実に進めていくためには、お客さまのご理解とご協力が不可欠であることから、水道局の環境施策を広くわかりやすくお伝えすることを目指し、大阪市水道局環境報告書を発行します。

【参考】温室効果ガスの事業別排出状況（令和3年度実績）



水道事業が排出している温室効果ガスは、大阪市の実施している事業全体の7.7%（年間6.6万トン）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



水道局では、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」の趣旨をふまえた、環境にやさしい取組を推進することで、SDGsの達成に貢献していきます。